

下地島空港

【実施主体：個社】

下地島空港

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	2024年度保安検査委託単価の改定	当社から保安検査会社へ検査委託を行っているが、年度ごとの契約においては保安検査会社が要望する契約単価にて契約を行っている。	
【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定 等）	EXTRA作業料金の値上げ	EXTRA作業料金の単価を6～7%アップ。	
【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進	地域イベント(運動会)への参加やインターシップ受け入れ	業務に追われるばかりでなく、地域との接点を持つ事で企業愛着を持つ事、インターシップ学生を受け入れる事で業務価値を改めて確認する機会とする。	
	安全パトロール	役員及び管理職による職場パトロール。	4S活動の強化及びKY活動を通して、常に安全快適な職場の維持を継続する。
	・時短、日短出勤の拡大 ・ベビーシッター利用支援	・育児短時間勤務制度として、中学に就学するまでの間を勤務時間の短縮措置をできることとしている。(法令上は3歳未満) ・お子様のいる社員の金銭的な負荷・負担の軽減措置として割引券を提供している。	
【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	管理職の現場巡回による状況把握や残業状況の把握	残業実績や、個人面談を踏まえた業務処理負担感を確認し業務の采配の分散化を行い、偏りが生じないよう配慮	
	所定労働時間の管理及び把握を行い、従業員の標準配置基準の把握	受託契約に基づく工数の管理で休日勤務並びに残業時間の減に努める	従業員の肉体的負担と精神的な負担の減少
	・定配員数の見直しを実施	・今年度の事業計画を見据えた定配員数を算出し、今年度においては増員を実施した。	
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制	応需可能範囲内でのフライトハンドリング	チャーター応需やプライベートハンドリング応需の抑制	
	運航スケジュールの管理	各エアラインの運航スケジュールを注視し、必要工数の把握に努め、適正な業務量の管理に努める。	従業員への負担を抑制することによる離職率の低減
	・他職種研修受け入れを実施	・PL訓練生、総合職の研修受け入れを行い、旅客、ランプ要員の業務負荷の低減を図る。	

<p>【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）</p>	<p>合同企業説明会の積極的な参加、専門学校での会社説明会実施 求人サイトでの採用募集</p>	<p>宮古島及び那覇での合同企業説明会参加に求職者への説明。九州、沖縄地区専門学校での会社説明会の実施。 沖縄県事業助成金を活用した求人サイト掲載による採用活動強化</p>	
	<p>宮古ハローワークや自治体の就職説明会等への積極的な参加。</p>	<p>8月、企業説明会等へ参加、個別に説明を実施。</p>	<p>55歳以上の採用が見込まれる。</p>
	<p>・高校生の職場見学の実施(専門学校経由) ・高校での業務紹介の実施</p>	<p>各空港において学生の空港見学等の受け入れ</p>	<p>特にコロナ禍・後においては業界に対するマイナスイメージが大きく、実情を見て説明することでイメージダウンの抑止にはなっている。</p>
<p>【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）</p>	<p>航空会社規程に準じた訓練実施となるが、現時点では事案、打診は無し</p>		
	<p>訓練時間、期間の短縮</p>	<p>同業他社転職者の訓練を経験歴に見合わせ短縮を図り、稼働タイミングを早める</p>	
	<p>警備業の基本教育時間をまとめる。</p>	<p>警備業教育実施を計画的に複数名で受講</p>	<p>教官等の教育時間の短縮の繋げ、残業時間の減</p>
	<p>・一部専門学校と協議</p>	<p>入社後の訓練科目と授業の重複部分について整理して免除等して訓練期間を短縮可否や、実現の可能性についてアイデア出し。</p>	
<p>【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入</p>	<p>マルチスキル化の促進</p>	<p>カウンター業務、ランプ業務の分業にとらわれず、稼働時間のピーク時差を埋め込む事で、最小人員でハンドリングを行う。</p>	
	<p>外国人採用</p>	<p>国際線復便を鑑み、語学力を有する台湾人2名の採用</p>	
	<p>旅客の混雑時間による配置員の管理</p>	<p>保安検査員の適正な配置を旅客数により管理</p>	<p>従業員の労働時間と休日の確保</p>
	<p>・仕分け等の非基幹業務を派遣社員に分担させ、社員が行う業務を基幹業務へ集中させる。</p>	<p>・旅客、ランプとも実施業務の見直しを行い（基幹業務、非基幹業務）、社員は基幹業務へ専念する業務アサインを編成する。</p>	

【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備			
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進			
【中期】 特定技能制度の積極的な活用			

【実施主体：空港会社等】

下地島空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 空港内の労働環境の改善			
【短期】 空港の知名度を生かした採用活動			
【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】 空港WGの活用推進			
【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進			
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等）			

【実施主体：地方自治体】

下地島空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化</p>			
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>			
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>	<p>沖縄県管理空港保安検査場緊急対策事業</p>	<p>沖縄県管理空港において保安検査を行う事業者に対する求人広報活動、資格取得、応援要員渡航費の支援に係る補助金交付要綱を策定し、関係機関へ周知を行った。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>令和5年度補正予算地方空港受入環境整備事業（空港業務体制強化支援事業）に係るWGを開催。</p>	<p>下地島空港WGを通じ、下地島空港業務体制強化事業計画の策定及び下地島空港受入体制強化に向けた人材確保の推進事業について、意見交換等を実施。</p>	
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討（空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等）</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			